

1 地勢

【政策企画課】

船橋市は東京湾北東部沿岸、県北西部に位置し、面積は 85.62 k m²、ひろがりは東西 13.86 k m、南北 14.95 k mである。東は習志野市・八千代市、西は市川市、北は鎌ヶ谷市・白井市に接しており、県都千葉市に次ぐ第 2 の人口を擁している。

土地はおおむね平たんで、北部は緑に覆われ、低い丘陵が起伏しており、市街地と北部農耕地の中間の内陸部は昭和 35 年に完成した公団住宅前原団地の進出を契機に、宅地開発が盛んに行われ、住宅地が広がっている。



2 沿革

【政策企画課、文化課】

今から約 400 年前、徳川幕府は船橋を直轄地とした。当時の船橋はまだ住民が各所に散在する農漁村に過ぎなかったが、元和元年、徳川家康が船橋御殿を創設し、上総の国東金（現東金市）に往還の途次、宿泊したことから、徳川家と縁りのある地となった。

江戸時代になり、下総・上総・安房・常陸四カ国の交通の要衝として、海運も次第に開けて物資の集散地となって宿場町として発展し「船橋宿」と呼ばれるようになった。

明治 22 年「船橋町」となったが、5 年後に総武鉄道が開通したため宿場町の機能が失われ、町勢は一時的に衰えをみせたが、明治後半に習志野原の軍隊が拡充され、さらに大正になって京成・北総鉄道(現東武野田線)が開通し、交通網が整備されるにおよんで、商業を中心として町勢を回復し、人口も 2 万人を超えるようになった。

昭和 12 年に隣接する 1 町 3 村を合併して、人口約 43,000 人を有する船橋市が誕生した。その後、戦時色が濃くなり、太平洋戦争の開戦とともに、軍需産業の導入や疎開者の受け入れ等のため人口が増え、終戦の昭和 20 年には 68,000 人に達した。

市の行政圏も昭和 28 年に二宮町、昭和 29 年に豊富村を合併し、市域 78.95 km²、人口も 11 万人余となり、現市域の原形はここに決定された。

その後、国鉄（現 JR）西船橋駅の開設、地下鉄東西線の開通等交通機関の整備と相まって住宅公団（現独立行政法人都市再生機構）による大規模団地の造成が次々に行われ、過密化した東京都からの人口流入が顕著となり、急激な人口増加の現象が現われ、昭和 49 年には人口 40 万人を超え、昭和 58 年 9 月には、人口 50 万人以上の大都市の仲間入りを果たした。

さらに、この年には、市民待望の市立医療センターが完成するとともに、スポーツを通じて市民の健康と連帯意識を高めるため「スポーツ健康都市」を宣言し、地域のスポーツリーダーの養成を目的とした「スポーツ健康大学」の開校をはじめ、気軽に軽スポーツができる「まちかどスポーツ広場」の設置等を進めた。

昭和 61 年には「平和都市」を宣言し、平和の尊さについて広く理解していただくため、毎年講演会などの様々な事業を開催している。また、姉妹（友好）都市（ヘイワード市・オーデンセ市・西安市）を締結して、市民同士の交流を中心に文化・スポーツなどを通じた国際交流活動が活発に行われている。

さらに、平成 4 年にやさしさと緑に包まれたまちづくりを進めるため「福祉と緑の都市」を宣言し記念事業の一環として、アンデルセン公園を建設した。また、平成 5 年には全国でも初めて「環境共生モデル都市（エコシティ）」に指定された。

また、平成 15 年 4 月 1 日には、地方分権の推進および市民サービスをより一層向上させるため、保健や福祉、環境などに関連する多くの権限を持つ中核市に、千葉県内で初めて移行した。

令和 3 年 10 月 11 日には、東京湾東岸部最古の取掛西貝塚が、船橋市で初めて国の史跡に指定された。

本市は、人口 64 万人を超え、政令指定都市を除くと最も人口の多い市へと成長した。一方、少子・高齢化の進展、人々の多様性の尊重、脱炭素社会に向けた取り組みの広がり、激甚化が懸念される自然災害への対応、デジタル技術の進展など、本市をとりまく社会経済情勢は大きく変化しており、市民や団体、事業者等の市政への積極的な参加や、様々なニーズに対応した柔軟なまちづくりが求められている。

3 船橋市の歩み

年月日	事項
昭和	
12. 4. 1	船橋町、八栄村、葛飾町、塚田村、法典村を合併し、市制施行。 (面積 40.29 km ² 、千葉県告示人口 42,981 人)
12. 5. 25	市議会議員選挙。
12. 8. 6	市紋章を制定。
12. 8. 11	初代市長に川久保常次郎就任。
12. 11. 2	県水道事務所船橋業務所開設。
13. 12. 23	第 2 代市長に後藤秀四郎就任。
15. 1. 1	市域内の大字、小字を廃し、新町名を設定。
15. 10. 1	第 5 回国勢調査 当時の市域：世帯 9,920、人口 50,907 人 (現市域における当時の人口 61,495 人)。
16. 8.	船橋海軍無線電信所に高さ 200m6 基、100m2 基、75m3 基の無線塔が完成。 同所を東京海軍通信隊船橋分遣隊と改称。
16. 12. 2	行田無線を通じ「ニイタカヤマノボレ 1208」の暗号打電。
17. 6. 1	市議会議員選挙。
17. 7.	市警防団に常備消防部を設置。
18. 2. 1	第 3 代市長に後藤秀四郎就任 (2 期目)。
20. 12. 24	第 4 代市長に高橋恒治就任。
21. 10. 9	選挙管理委員会発足。
21. 11. 4	市立図書館開館、市役所内に設置。
22. 4. 5	市長選挙 (第 1 回統一地方選挙)。第 5 代 (公選初代) 市長 松本栄一就任。
22. 4. 30	市議会議員選挙 (第 1 回統一地方選挙)。
22. 5. 10	新制中学校創立 (市立船橋中学校、宮本中学校、海神中学校、葛飾中学校、法田中学校、 八栄中学校、三咲中学校、高根中学校、町立二宮中学校、村立豊富中学校)。
22. 10. 1	第 6 回国勢調査 当時の市域：世帯 17,042、人口 78,996 人 (現市域における当時の人口 95,326 人)。
22. 11. 1	市制施行 10 周年記念式典。
22. 12. 27	新京成電鉄 新津田沼～薬園台間が開通し、新津田沼駅、薬園台駅開設。
23. 4. 1	八栄中学校が船橋中学校に合併。
23. 8. 26	新京成電鉄 薬園台～滝不動間開通し、滝不動駅開設。
23. 11. 1	船橋公共職業安定所開設。
24. 1. 4	船橋税務出張所 (現・船橋県税事務所) 開設。
24. 1. 8	新京成電鉄 滝不動～鎌ヶ谷大仏間が開通し、三咲駅開設。
24. 4. 1	市消防本部 (現・消防局) 設置。
24. 4. 1	御滝中学校創立 (高根中学校と三咲中学校の合併による)。
24. 6. 1	船橋電報電話局発足。

市勢

年月日	事項
24. 6. 15	(財) 社会保険船橋病院 (現・船橋中央病院) 開設。
25. 4. 1	二宮町立二宮第二小学校 (現・市立薬田台小学校) 創立。
25. 4. 24	中央保育園開設。
25. 6. 25	船橋市広報創刊 毎月 1 回発行 (現・広報ふなばし月 2 回発行)。
25. 8. 21	船橋競馬場開場式、初の船橋競馬 (県営) 開催。
25. 10. 1	第 7 回国勢調査 当時の市域：世帯 17,555、人口 83,348 人 (現市域における当時の人口 100,134 人)
25. 10. 29	船橋オートレース場開場式。日本最初のオートレース (県営) 開催。
25. 12. 1	市教育委員会発足開庁式。
26. 4. 1	県船橋保健所設置。
26. 4. 1	湊町小学校創立。
26. 4. 23	市長、市議会議員選挙。
26. 4. 30	第 6 代市長に高木良雄就任。
26. 7. 13	初の市営船橋競馬開催。
26. 7. 20	農業委員選挙。
26. 7. 20	農業委員会発足。
27. 4. 1	市制施行 15 周年記念式典。
27. 4. 1	小栗原小学校創立。
27. 6. 10	夏見保育園 (現・夏見第一保育園) 開設。
27. 7. 28	天然ガス試掘成功。
28. 4. 1	西海神小学校創立。
28. 4. 20	千鳥保育園開設。
28. 7. 5	市内自動即時電話開通。
28. 8. 1	千葉郡二宮町、船橋市に合併。二宮支所 (現・二宮出張所) 開設。
28. 8. 1	第 1 回船橋市納涼花火大会。
28. 8. 25	二宮町合併に伴う市議会議員増員選挙執行 (旧・二宮地区)。
28. 9. 1	市営公益質屋再開 (～51 年 3 月)。
29. 3. 23	船橋港起工式。
29. 4. 1	千葉郡豊富村、船橋市に合併。
29. 4. 1	豊富出張所開設 (旧・豊富村役場)。
29. 4. 16	豊富村合併に伴う市議会議員増員選挙執行 (旧・豊富地区)。
29. 6. 10	湊町保育園開設。
30. 3. 18	初の市営オートレース開催。
30. 4. 30	市長、市議会議員選挙。
30. 5. 1	第 7 代市長に高木良雄就任 (2 期目)。
30. 9. 1	峰台小学校創立。
30. 10. 1	第 8 回国勢調査 (世帯 23,409、人口 114,921 人)。
30. 11. 1	中央公民館落成式 (旧・2 階建中央公民館)。

年月日	事項
30. 11.	船橋ヘルスセンター落成披露（5日より営業開始）。
31. 4. 1	前原小学校創立。
31. 9. 15	東武鉄道野田線新船橋駅新設。
31. 9. 18	船橋警察署竣工。
31. 10. 1	船橋、東京間の一部に自動即時電話開通。
32. 1. 15	第1回成人の日記念市民駅伝大会。
32. 2. 3	船橋、市川間自動即時電話開通。
32. 4. 1	市制施行20周年記念式典。
32. 4. 1	市立船橋高等学校創立。
32. 6. 10	豊富公民館（旧・平屋建北部公民館）竣工。
33. 4. 1	市国民健康保険直営豊富診療所設置。
33. 7. 1	社会保険事務所開設。
33. 11. 10	国鉄総武線西船橋駅新設。
34. 1. 20	市庁舎（33年建設の前庁舎）落成祝賀式。
34. 4. 1	第三分遣所（現・中央消防署夏見分署）設置。
34. 4. 30	市長、市議会議員選挙。
34. 5. 1	第8代市長に渡辺三郎就任。
35. 4. 1	三山小学校創立。
35. 4. 29	京葉道路1期工事区間（海神～江戸川区一之江）供用開始。
36. 5. 1	宮本保育園（現・宮本第一保育園）開設。
35. 10. 1	日本住宅公団前原団地入居開始。
35. 10. 1	中野木小学校創立。
35. 10. 1	第9回国勢調査（世帯31,119、人口135,038人）。
36. 4. 1	湊中学校、前原中学校創立。
36. 5. 31	財団法人船橋市開発協会設立。
36. 7. 12	精神薄弱児通園施設「藤原学園」開園式。
36. 9. 1	高根台第一小学校、高根台中学校創立。
37. 3. 21	第四分遣所（現・東消防署薬円台出張所）設置。
37. 9. 1	高根台第二小学校創立。
37. 10. 1	市制施行25周年記念式典。
38. 4. 1	県立薬園台高等学校創立。
38. 4. 30	市長、市議会議員選挙（市長選挙は無投票）。
38. 5. 1	第9代市長に渡辺三郎就任（2期目）。
38. 7. 1	二宮保育園開設。
38. 10. 7	高根台出張所開設。
38. 3. 10	船橋市議会報創刊。
39. 4. 1	市役所機構改革、部制を実施。
39. 11. 11	中小企業団地落成式。

市勢

年月日	事項
40. 1. 1	少年補導センター（現・青少年センター）設置。
40. 1.	第五分遣所（旧・中央消防署本中山出張所）設置。
40. 3. 30	西浦処理場（第1次し尿処理施設）落成式。
40. 4. 1	高根台保育園設置。
40. 4. 1	船橋労働基準監督署開設。
40. 9. 1	市内最初の住居表示（湊町1～3丁目、南本町）実施。
40. 10. 1	第10回国勢調査（世帯 58,502、人口 223,989 人）。
40. 11. 7	運動公園（陸上競技場、野球場、テニスコート等）開設。
41. 2. 1	簡易マザーズホーム（現・西簡易マザーズホーム）開設。
41. 4. 1	若葉保育園設置。
41. 5. 1	勤労青少年ホーム開館。
41. 6. 1	住居表示（海神2～6丁目、西船1～3丁目、山手1～3丁目）実施。
41. 7. 1	(株) 船橋市街地改造公社設立。
42. 2. 1	習志野台出張所開設。
42. 3. 23	東町事業所（ごみ焼却施設）（～58年3月）。
42. 3. 25	船橋市福祉銀行設立。
42. 4. 1	法典東小学校、習志野台第一小学校、習志野台中学校創立。
42. 4. 28	市長、市議会議員選挙。
42. 5. 1	第10代市長に渡辺三郎就任（3期目）。
42. 6. 1	住居表示（海神1丁目、西船4～7丁目、印内1・2丁目、東中山1・2丁目、本中山1～3丁目）実施。
42. 6. 1	前原児童ホーム設置。
42. 9. 13	商工会議所会館開館。
42. 9. 22	国鉄船橋駅前南口広場完成。
42. 10. 1	市制施行30周年記念式典。
42. 10. 1	交通災害共済制度実施。
42. 10. 6	勤労会館開館。
42. 10. 27	船橋パール地下街名店街開店。
43. 3. 1	住居表示（宮本1～9丁目、東船橋5～7丁目、市場1～5丁目、浜町1・2丁目、若松1・2丁目）実施。
43. 4. 1	高郷小学校、古和釜小学校創立。
43. 5. 1	海神保育園（現・海神第一保育園）開設。
43. 5. 1	ごみの夜間収集始まる（全国で2番目に実施）。
43. 5.	市消費者モニター制度発足。
43. 7. 1	社団法人船橋市清美公社設立。
43. 7. 1	習志野台保育園（現・習志野台第一保育園）開設。
43. 8. 1	第1回産業まつり開催（～18日）。
44. 2. 1	東消防署設置

年月日	事項
44. 3. 1	住居表示（前原東 1～6 丁目、前原西 1～8 丁目）実施。
44. 3. 29	帝都高速度交通営団東西線全線（西船橋～中野）開通し、西船橋駅、原木中山駅開設。
44. 3. 31	西部公民館新館開館。
44. 4. 1	南本町小学校、若松小学校、飯山満小学校創立。
44. 4. 1	若松中学校創立。
44. 4. 1	高根台児童ホーム設置。
44. 5. 13	千葉ニュータウン事業（新住宅市街地開発事業）都市計画決定。
44. 5. 19	船橋東郵便局開設（〒274）。
44. 5. 23	中央卸売市場青果部門営業開始。
44. 7.	昭和 60 年を目標年とする船橋市総合開発計画を発表。
44. 7. 12	国鉄下総中山駅高架駅となる。
44. 7. 15	人口 30 万人を超える（全国の市では 34 番目）。
44. 12. 5	西浦処理場（第 2 次し尿処理施設）落成式。
45. 2. 7	母子寮建替落成式。
45. 3. 1	住居表示（本町 1～7 丁目）実施。
45. 4. 1	習志野台第二小学校創立。
45. 4. 1	三市一町（現・四市複合事務組合）伝染病予防組合伝染病舎開設。
45. 4. 25	都疎浜ポンプ場始動。
45. 5. 1	養護老人ホーム「豊寿園」開園、入居開始。
45. 8. 30	本町・宮本通り歩行者天国始まる（同年 10 月より毎月第 1 日曜日）。
45. 9. 27	国鉄船橋駅高架駅となる。
45. 10. 1	第 11 回国勢調査（世帯 91,622、人口 325,426 人）。
45. 10. 1	二和保育園開設。
45. 11. 1	住居表示（金杉台 1・2 丁目）実施。
45. 11. 10	市の木サザンカに決まる。
45. 12. 1	若松保育園開設。
46. 1. 6	市立図書館新築移転開始（旧・西図書館）。
46. 2. 1	住居表示（夏見 1～7 丁目、夏見台 1 丁目、北本町 1・2 丁目）実施。
46. 4. 1	公害防止条例施行。
46. 4. 1	金杉台小学校、大穴小学校創立。
46. 4. 1	金杉台中学校創立。
46. 4. 25	市長、市議会議員選挙。
46. 5. 1	第 11 代市長に渡辺三郎就任（4 期目）。
46. 5. 1	習志野霊園開設。
46. 5. 19	行田無線塔解体作業開始（～12 月 24 日）。
46. 7. 1	運動公園市民プールオープン。
46. 7. 5	宮本公設小売市場「スカイマート」開設。
46. 9. 29	地盤沈下非常事態宣言。

市勢

年月日	事項
46. 12. 20	スクランブル交差点、本町通りに設置（県下初）。
47. 1. 1	天然ガスの汲上げ全面禁止（地盤沈下が激しいため）。
47. 1. 5	人口 35 万人突破。
47. 2. 21	法典連絡所開設（初の模写電送機導入）。
47. 4. 1	千鳥第二保育園、金杉台保育園、三山保育園設置。
47. 4. 1	高根東小学校、高根台第三小学校、古和釜中学校創立。
47. 4. 1	県立船橋東高等学校創立。
47. 5. 1	住居表示（習志野台 1～8 丁目、西習志野 1～4 丁目）実施。
47. 6. 1	四市複合事務組合特別養護老人ホーム「三山園」開園。
47. 6. 11	郷土資料館開館。
47. 6. 20	中央卸売市場水産部門営業開始。
47. 7. 15	国鉄総武線複々線化完成。快速電車、津田沼～東京間運転開始。
47. 7. 21	市民体育館開館式。
47. 8. 1	船橋・市川港が植物防疫法に基づく輸入指定港となる。
47. 10. 1	西浦町事業所（ごみ焼却施設）操業開始。
47. 12. 1	船橋駅連絡所開設（電送機導入）。
48. 2. 1	住居表示（緑台 1・2 丁目）実施。
48. 3. 1	住居表示（高根台 1～7 丁目、松が丘 1～5 丁目、薬円台 1～5 丁目）実施。
48. 4. 1	習志野台第二保育園開設。
48. 4. 1	夏見台小学校、八木が谷小学校、高根中学校創立。
48. 4. 1	点字広報創刊。
48. 4. 1	京葉臨海開発事務所開設。
48. 7. 1	運動公園内に弓道場開設。
48. 7. 16	千葉地方法務局船橋支局庁舎新築。
48. 8. 15	二宮出張所庁舎建替落成。
48. 10. 1	衛生センター（旧・中央保健センター）開設（県下初）。
48. 10. 1	消防局・中央消防署合同庁舎落成。
48. 10. 1	可燃物ごみ収集に紙袋を採用（週 3 回収集実施）。
48. 10. 1	緑の保存と緑化の推進に関する条例施行。
48. 10. 14	第 28 回国民体育大会秋季大会「若潮国体」（～19 日）。船橋市会場（15 日～18 日体操、馬術、重量あげ）。
48. 11. 1	習志野台児童ホーム設置。
48. 12. 1	夜間急病診療所開設。
48. 12. 22	大気汚染監視システム始動。
49. 2. 1	住居表示（二宮 1・2 丁目、本中山 4～7 丁目）実施。
49. 4. 1	西船保育園設置。
49. 4. 1	薬円台南小学校、三田中学校創立。
49. 4. 1	精神薄弱者厚生施設「北総育成園」開設（東庄町）。

年月日	事項
49. 4. 1	二和公民館設置。
49. 4. 1	北消防署設置。
49. 4. 1	婦人消防官制度施行。
49. 4. 1	市営火葬場完成（～55年3月）。
49. 5. 10	人口40万人を超える（全国の市では25番目）。
49. 11. 1	財団法人船橋市環境公社設立。
49. 12. 1	住居表示（日の出1・2丁目、栄町1・2丁目、西浦1～3丁目、南海神1・2丁目）実施。
50. 1. 8	二和連絡所開設（電送機導入）。
50. 1. 15	潜在看護婦の求人・求職取次所開設。
50. 2. 7	新京成電鉄 新津田沼～松戸間全線複線化。
50. 4. 1	高根保育園、海神第二保育園、宮本第二保育園、緑台保育園設置。
50. 4. 1	坪井小学校、飯山満南小学校創立。
50. 4. 1	三田公民館設置（三田中体育館と併設）。
50. 4. 1	県立船橋西高等学校創立。
50. 4. 3	船橋駅北口市街地再開発事業起工式。
50. 4. 27	市長、市議会議員選挙。
50. 5. 1	第12代市長に藤代七郎就任。
50. 5. 1	県葛南港湾事務所設置。
50. 7. 1	潮見町、高瀬町、浜町3丁目、若松3丁目誕生。
50. 7. 11	金杉自然の森開設。
50. 8. 1	北部公民館新築移転開館（豊富出張所と併設）。
50. 8. 4	豊富出張所新築移転、新庁舎で執務開始（北部公民館と併設）。
50. 9. 1	老人福祉センター（現・中央老人福祉センター）開所式。
50. 10. 1	第12回国勢調査（世帯124,327、人口423,101人）。
50. 12. 1	住居表示（芝山1～7丁目）実施。
51. 4. 1	市スポーツ振興審議会条例施行。
51. 4. 1	行田東小学校、行田西小学校、丸山小学校、行田中学校創立。
51. 4. 1	西浦終末処理場（下水処理施設）操業開始。
51. 4. 1	県立船橋旭高等学校創立。
51. 6. 27	市営潮干狩場開設（～56年）。
51. 7. 15	青少年キャンプ場（印旛郡白井町）開設（～59年3月）。
51. 12. 1	住居表示（丸山1～5丁目、東船橋1～4丁目）実施。
52. 4. 1	日本住宅公団芝山団地入居開始。
52. 4. 1	芝山出張所開設。
52. 4. 1	行田保育園設置。
52. 4. 1	海神南小学校、大穴北小学校、八木が谷北小学校、芝山東小学校創立。
52. 4. 1	芝山中学校、七林中学校創立。
52. 4. 1	市内初の自転車駐車場（北習志野駅）開設。

市勢

年月日	事項
52. 4. 1	東部公民館新築移転・東消防署前原分遣所新設（複合施設）。
52. 4. 1	芝山公設小売市場「芝山プラザ」開設。
52. 5. 1	大型店舗出店指導要綱を制定。
52. 5. 5	船橋ヘルスセンター実質的に営業を休止（フィナーレ記念ファミリーまつり開催）。
52. 9. 1	中央公民館新館開館。
52. 9. 1	市にコンピュータ導入。
52. 10. 1	市制施行 40 周年記念式典。
52. 10. 7	国鉄船橋駅北口広場供用開始。
52. 10. 7	消費生活センター開設。
52. 12. 2	県立船橋県民の森一部開園。
52. 12. 18	休日急患歯科診療所開設。
53. 2. 1	住居表示（田喜野井 1～7 丁目、三山 1～9 丁目）実施。
53. 4. 1	本町保育園、芝山第一保育園、本中山保育園設置。
53. 4. 1	ことばの相談室開設（県内初）。
53. 4. 1	金杉小学校、二和小学校創立。
53. 4. 1	東消防署三山分遣所（現・東消防署三山分署）設置。
53. 4. 1	県立船橋芝山高等学校創立。
53. 4. 5	運動公園野球場にナイター設備完成、使用開始。
53. 7. 1	市民文化ホール開館（7 月 1 日～16 日まで記念行事開催）。
53. 8. 20	習志野台中学校女子バスケットボール部が全国大会で優勝。
53. 9. 1	県立船橋養護学校創立。
53. 10. 1	福祉タクシー制度実施。
53. 10. 2	国鉄武蔵野線 西船橋～新松戸間開通し、船橋法典駅開設。
54. 2. 1	住居表示（習志野 1～5 丁目、新高根 1～6 丁目）実施。
54. 3. 1	三山連絡所開設（電送機導入）。
54. 3. 9	北総開発鉄道 小室～北初富間開通し、小室駅開設。
54. 3. 13	千葉ニュータウン小室ハイランド入居開始。
54. 3. 23	船橋市基本構想が市議会で議決、発表される。
54. 4. 1	夏見第二保育園設置。
54. 4. 1	金杉台児童ホーム設置。
54. 4. 1	幼児療育相談センター設置。
54. 4. 1	芝山西小学校、小室小学校創立。
54. 4. 1	八木が谷中学校、大穴中学校、小室中学校創立。
54. 4. 1	市立養護学校創立。
54. 4. 1	海老が作公民館設置（大穴中体育館と併設）。
54. 4. 1	県立船橋二和高等学校創立。
54. 4. 1	船橋警察署新築移転。
54. 4. 22	市長、市議会議員選挙。

年月日	事項
54. 5. 1	第 13 代市長に藤代七郎就任。(2 期目)。
54. 7. 1	リサイクルセンター開設。
54. 7. 1	大穴市民プール開設。
54. 9. 1	なし赤星病防止条例施行。
54. 10. 1	火災等災害共済制度施行。
55. 3. 31	財団法人船橋市医療公社設立。
55. 4. 1	下水道事業受益者負担条例施行。
55. 4. 1	西船連絡所開設（電送機導入）。
55. 4. 1	小室保育園設置。
55. 4. 1	若松児童ホーム設置。
55. 4. 1	七林小学校、坪井中学校創立。
55. 4. 1	高根公民館設置。
55. 4. 1	北消防署三咲分遣所（現・北消防署三咲分署）設置。
55. 4. 1	四市複合事務組合「馬込斎場」開設。
55. 4. 1	県立船橋古和釜高等学校創立。
55. 4. 24	財団法人船橋市生きがい福祉事業団設立。
55. 6. 20	市民オーケストラ結成式。
55. 10. 1	宮本ポンプ場運転開始。
55. 10. 1	第 13 回国勢調査（世帯 155,372、人口 479,439 人）。
55. 10. 23	市役所新庁舎起工式。
56. 1. 10	青少年会館開館式。
56. 2. 1	住居表示（高野台 1～5 丁目、咲が丘 1～4 丁目、八木が谷 1～5 丁目、みやぎ台 1～4 丁目、二和東 1～6 丁目、二和西 1～6 丁目、三咲 1～5 丁目）実施。
56. 4. 1	浜町保育園設置。
56. 4. 1	田喜野井小学校、三山中学校創立。
56. 4. 1	小室児童ホーム、西船児童ホーム設置。
56. 4. 1	夏見公民館新築移転。
56. 4. 1	習志野台公民館、浜町公民館、小室公民館設置。
56. 4. 1	県立船橋法典高等学校創立。
56. 4. 2	ららぽーと開店。
56. 4. 15	小室連絡所開設（電送機導入）。
56. 6. 1	一宮少年自然の家開所式。
56. 6. 2	東図書館開館。
56. 7. 19	市長選挙、市議会議員補欠選挙 第 14 代市長に大橋和夫就任。
56. 10. 1	国鉄総武線東船橋駅新設、営業開始。
56. 10. 1	国鉄総武線船橋駅北口の再開発ビル「船橋ツインビル」オープン。
57. 1. 18	市立医療センター起工式。
57. 2. 1	住民票発行事務を電算化。

市勢

年月日	事項
57. 2. 1	船橋東警察署新設。
57. 2. 1	住居表示（金杉 1～9 丁目、南三咲 1～4 丁目）実施。
57. 4. 1	三山児童ホーム設置。
57. 4. 1	三山東小学校創立。
57. 4. 1	東消防署芝山分遣所（現・東消防署芝山分署）設置。
57. 4. 6	財団法人船橋市海浜公園管理協会設立。
57. 7. 16	「船橋海浜公園」オープン。
57. 10. 1	自転車の安全利用に関する条例施行（～62 年 3 月 31 日）。
57. 11. 29	船橋市役所新庁舎開庁式、執務開始。
57. 12. 28	選挙ポスター掲示場設置条例施行。
57. 12. 28	長津川が二級河川に昇格。
58. 1. 1	船橋市ラブホテルの建築規制に関する条例施行（東日本初）。
58. 2. 1	土砂等による土地の埋立・盛土・たい積行為規制条例施行。
58. 2. 26	はしご付消防自動車（高さ 48m）導入（日本一）。
58. 4. 1	八木が谷児童ホーム設置。
58. 4. 1	北部清掃工場（ごみ焼却施設）操業開始。
58. 4. 1	咲が丘小学校、飯山満中学校創立。
58. 4. 1	市立船橋高等学校に体育科を新設。
58. 4. 1	八木が谷公民館設置。
58. 4. 1	市老人大学開校。
58. 4. 1	図書館の貸し出し業務を電算化。
58. 4. 1	船橋市スポーツ振興共済会発足。
58. 4. 1	県立船橋豊富高等学校創立。
58. 4. 5	南三咲屋根付ゲートボール場オープン（全国初）。
58. 4. 24	市議会議員選挙。
58. 5. 1	軽費老人ホーム、社会福祉法人福寿荘開設。
58. 5. 11	船橋市訪中親善使節団西安市を訪問（～20 日）。
58. 6. 30	市立医療センター竣工。
58. 7. 12	船橋税務署開設。
58. 8. 26	第 1 回私があげる花火大会開催。
58. 9. 22	人口 50 万人を超える（全国の市では 20 番目）。
58. 10. 1	中央図書館オープン。
58. 10. 1	市立医療センターオープン、診療開始。
58. 10. 10	「スポーツ健康都市」を宣言。
59. 2. 1	住居表示（行田 1～3 丁目、印内 3 丁目）実施。
59. 3. 19	住宅・都市整備公団鉄道 小室～千葉ニュータウン中央間開通。
59. 4. 1	松が丘児童ホーム設置。

年月日	事項
59. 4. 1	松が丘児童ホーム設置。
59. 4. 1	複合施設「社会福祉会館」（東老人福祉センター、母子福祉センター、身体障害者福祉センター、東簡易マザーズホーム、東部保健センター）設置。
59. 4. 1	法典西小学校創立。
59. 4. 1	飯山満公民館設置。
59. 4. 1	青少年キャンプ場（大神保町）オープン。
59. 4. 1	印旛沼関連公共下水道が一部（古和釜町、松が丘 2・3 丁目）供用開始。
59. 7. 16	船橋公共職業安定所新築。
59. 8. 17	法典東小学校（男子）全日本バレーボール小学生大会で優勝。
59. 9. 1	外国人英語教師派遣（中学校、市立船橋高等学校）を開始。
59. 10. 10	まちかどスポーツ広場オープン。
59. 12. 1	印鑑登録証明書発行事務を電算化。
60. 1. 10	財団法人緑の基金設立。
60. 2. 1	住居表示（大穴北 1～8 丁目、大穴南 1～5 丁目、三咲 6～9 丁目）実施。
60. 3. 20	運動公園にホタルの里完成。
60. 4. 1	飯山満児童ホーム設置。
60. 4. 1	精神薄弱者授産施設「光風みどり園」設置。
60. 4. 1	市場小学校、旭中学校創立。
60. 4. 1	丸山公民館設置。
60. 4. 1	県立船橋北高等学校創立。
60. 4. 1	社会福祉法人清和会ワールドナーシングホームオープン（県下初の痴呆老人専門の特別養護老人ホーム）。
60. 5. 17	第 1 回グリーンフェア船橋開催（～18 日）。
60. 6. 15	第 1 回ホタルを觀賞する夕べ開催。
60. 7. 7	市長選挙。
60. 7. 19	第 15 代市長に大橋和夫就任（2 期目）。
60. 8. 23	第 1 回少年の船、上海市へ出航（～30 日）。
60. 10. 1	第 14 回国勢調査（世帯 166,803、人口 506,966 人）。
61. 3. 3	国鉄京葉線 西船橋～千葉みなと間開通し、南船橋駅開設。
61. 4. 1	夏見児童ホーム設置。
61. 4. 1	塚田公民館設置。
61. 4. 1	北消防署行田分署設置。
61. 4. 1	女性担当室・国際交流室の 2 室を設置。
61. 4. 5	スポーツ健康大学開設。
61. 5. 28	船橋橋、新海老川橋、向田橋架替完成。高欄・レリーフ除幕式。
61. 7. 10	「まちかど美術館」が建設省手づくり郷土賞に選ばれる。
61. 9. 13	仮称南部清掃工場起工式。
61. 10. 1	西図書館に古文書保存の光ディスク装置導入。

市勢

年月日	事項
61. 11. 7	米国カリフォルニア州ヘイワード市と姉妹都市提携調印式。
61. 12. 10	新しい市民の歌「大船橋音頭・海に見える街で・夢一途」レコード発売。
61. 12. 19	「平和都市」宣言。
61. 12. 21	市立船橋高等学校が全国高等学校駅伝大会で初優勝。
62. 2. 1	住居表示（夏見台 2～6 丁目、駿河台 1・2 丁目）実施。
62. 3. 3	船橋市行政改革大綱策定。
62. 4. 1	塚田児童ホーム設置。
62. 4. 26	市議会議員選挙。
62. 6. 2	武道センターオープン。
62. 7. 1	総合教育センターオープン。
62. 7. 24	市制施行 50 周年記念式典。記念テレホン・オレンジカード発売。
62. 7. 25	海老川橋架替完成。高欄・レリーフ除幕式。
62. 8. 8	市立船橋高等学校サッカー部 全国高等学校総合体育大会で初優勝。
62. 8. 18	第 2 回少年の船 上海市へ出航（～26 日）。
62. 8. 25	船橋市国際交流協会設立総会。
62. 10. 15	ワンルーム形式集合住宅に関する指導要綱施行。
62. 11. 1	リサイクルセンター新築移転本稼動。
62. 11. 15	ワンパク王国開園（現・アンデルセン公園）市制百周年に向けタイムカプセル埋設。
62. 11. 28	西安市長来船。
62. 12. 6	小栗原小学校が全国学校合奏コンクール小学校の部で、3 年連続最優秀賞を受賞。
63. 2. 1	住居表示（薬円台 6 丁目、滝台 1・2 丁目）実施。
63. 3. 5	小栗原小学校 T B S 主催の子供音楽コンクールで最優秀賞及び文部大臣奨励賞受賞。
63. 3. 12	アンデルセンの生まれたデンマークのオーデンセ市の千年祭に船橋市友好使節団を派遣。
63. 3. 25	ららぽーと 2（ららぽーと船橋ショッピングセンター）開店。
63. 3. 27	市立船橋高等学校 初の甲子園出場（第 60 回春季選抜高等学校野球大会）。
63. 3. 31	習志野台第二小学校がミニバスケットボールで全国優勝。
63. 4. 1	「船橋市文化・スポーツ振興基金」発足。
63. 4. 1	建設局計画管理室に「都市デザイン室」を新設。
63. 4. 18	西浦下水処理場、合流ポンプ棟完成竣工式。西船橋 1 号幹線完成（下水道 4,000 ミリ管渠）。
63. 4. 26	「船橋市・西安市友好交流促進合意書」を西安市で調印。
63. 5. 8	国道 357 号二俣交差点、東京方面からの右折専用地下道が完成。
63. 5. 9	海老川富士見橋の架替完成、高欄・ブロンズ像除幕式。
63. 5. 10	宮本公民館設置（6 日開館式、宮本児童ホーム・宮本老人憩の家併設）。
63. 6. 27	船橋市文学賞を創設、作品を募集。
63. 8. 7	市立船橋高等学校サッカー部 63 年度全国高等学校総合体育大会で昨年に引き続き連続優勝。

年月日	事項
63. 8. 22	海老川排水機場（第 1 期工事）完成竣工式。
63. 9. 1	第 9 回六都県市合同防災訓練実施 高瀬町が中央会場となり竹下総理大臣が来船、1 万 6 千人参加。
63. 9.	ソウルオリンピックで市立船橋高等学校出身の鈴木大地君（水泳・金メダル）、佐藤寿治君（体操・銅メダル）が活躍。
63. 10. 15	平和のシンボル像「平和を呼ぶ」 （岡本太郎画伯作 高さ 13 メートル日本一）をワンパク王国内に設置、除幕式。
63. 11. 8	海老川九重橋の架替完成、レリーフ除幕式。
63. 11. 23	市立船橋高等学校 第 1 回全日本ジュニアクロスカントリーリレー大会で優勝。
63. 12. 1	JR・京葉線 千葉みなと～蘇我・南船橋～新木場・西船橋～新木場間延伸運転開通。
63. 12. 26	広域的な交通渋滞の抜本的改善計画が国から発表（船橋・我孫子線のうち中野木交差点までの 4 車線拡幅、花輪インターの改造、若松・二俣の両交差点の立体化）。
平成	
元. 1. 10	市立船橋高等学校 第 67 回全国高等学校サッカー選手権大会で準優勝。
元. 1. 14	第 1 回「留学生ニュー・イヤーパーティ」開催（市内在住の 13 か国 70 人の留学生が参加）。
元. 1. 17	三田中学校 63 年度全国合奏コンクールで最優秀賞を受賞。
元. 1. 31	広域的な交通渋滞の抜本的改善対策である湾岸船橋インターの新設が国土開発幹線自動車道建設審議会で決定。
元. 2. 1	住居表示（古作 1～3 丁目、中野木 1・2 丁目）実施。
元. 3. 4	第 1 回船橋市文学賞選考結果発表。
元. 4. 1	町会自治会活動災害保障保険制度発足。
元. 4. 2	海老川栄橋の架替完成、高欄除幕式。
元. 4. 6	デンマーク・オーデンセ市と姉妹都市提携調印。
元. 4. 14	社会福祉法人靖心会 特別養護老人ホーム恵の郷オープン。
元. 4. 24	船橋北口駐車場株式会社設立。
元. 5. 14	大穴市民プール プールハウス（太陽熱利用プール）に改装オープン。
元. 5. 27	市役所土曜閉庁（毎月第 2・第 4 土曜日）始まる。
元. 6. 1	勤労市民センターオープン。
元. 6. 2	三咲公民館（三咲児童ホーム、三咲老人憩の家併設）開館。
元. 6. 6	夏見バイパス開通。
元. 6. 7	海老川鷹匠橋完成式。
元. 6. 18	市長選挙・船橋市議会議員補欠選挙同時執行。
元. 7. 15	市・市民の声を聞く課、学校給食準備室の 2 課を新設。
元. 7. 19	第 16 代市長に大橋和夫就任（3 期目）。
元. 8. 17	船橋市・北海道津別町の子供交歓会（～23 日）。
元. 8. 30	南部清掃工場竣工式。
元. 10. 2	総合窓口制度を施行。

市勢

年月日	事項
元. 11. 8	ヘイワード市 モロー高等学校と市立船橋高等学校姉妹校調印。
元. 11. 9	船橋ケーブルネットワーク（株）（CATV放送会社）設立総会。
元. 11. 24	海老川万代橋の架替完成、高欄除幕式。
元. 12. 1	八木が谷市民の森オープン。
元. 12. 24	市立船橋高等学校 第1回全国高等学校女子駅伝競走大会で優勝。
2. 1. 14	ワンパク王国に日本一のフィールドアスレチック（111ポイント）完成。
2. 1. 16	三田中学校 全国学校合奏コンクール全国大会中学校の部で2年連続最優秀賞受賞。
2. 3. 3	大神宮下道路（3・4・25号線）が幅員16メートルに拡張され国道14号まで開通し交互通行になる。
2. 3. 5	船橋市が郵政省テレトピア構想のモデル都市に指定される。
2. 3. 10	JR・京葉線 新木場～東京駅間が開通し全線開業。
2. 3. 25	市立船橋高等学校 全国高校バレーボール選抜大会で男子初優勝。
2. 4. 1	65歳以上の方が市人口の7パーセントを越え、高齢化社会に突入。
2. 4. 1	北消防署小室分遣所設置（5月1日業務開始）。
2. 4. 1	八木が谷市民の森、大穴市民の森、丸山市民の森オープン。
2. 4.	ごみ減量キャンペーン「ダイエット船橋'90」始まる。
2. 4.	北部清掃工場焼却炉改修に着手。
2. 5. 22	京葉道路に小栗原歩道橋完成。
2. 5. 29	新高根公民館設置（5月27日開館式 新高根児童ホーム、新高根老人憩の家併設）。
2. 6. 28	海老川・長津川が建設省の「ふるさとの川モデル河川」整備計画に認定される。
2. 7. 1	「広報ふなばし」再生紙利用へ。
2. 7. 2	市立医療センター175床（ガン90床、循環器70床、救急15床）の増床が認可される。
2. 7. 18	給食問題研究委員会から中学校給食についての中間答申出される。
2. 8. 7	民間社宅と複合の葛飾公民館設置（8月4日開館式）。
	社団法人千葉県宅地建物取引業協会の船橋、京葉、中山各支部と「公共事業用地取得に伴う代替地の媒介等に関する協定書」に調印（市では全国初）。
2. 9. 1	住居表示（古作4丁目）実施。
2. 9. 9	全救急車に自動車電話を搭載。
2. 10. 1	ねたきり老人等の夜間介護のナイトケア制度スタート。
2. 10. 1	全救急車に全国初のファクシミリを搭載。市医師会とのタイアップで血圧計、心電図計も搭載。
2. 10. 1	第15回国勢調査（世帯187,841、人口533,270人）。
2. 10. 4	コンピュータによる市・財務会計システムスタート。
2. 10.	南部清掃工場の焼却灰を利用した透水タイルの民間との共同開発による試作品完成。
2. 11. 14	本町2丁目中央街区市街地再開発組合による再開発事業ビル建設起工式。
2. 11. 19	市7番目の津田沼駅前連絡所を開設、福祉に関する申請・相談も受付開始へ（12月1日献血ルームオープン）。

年月日	事項
2. 11. 26	JR・船橋駅北口駐車場オープン。エスカレーターのあるバスターミナルと広場も一部利用開始。
2. 11. 26	中学校給食を実験校（海神中、小室中）で試行（～12月14日）。
3. 1. 22	三田中学校2年度全国学校合奏コンクール中学校の部で3年連続最優秀賞を受賞。
3. 1. 27	小栗原小学校合奏クラブがこども音楽コンクールで文部大臣奨励賞（日本一）受賞。
3. 1. 28	総合計画審議会から新基本計画（案）「ふなばし未来 2001」に関する答申を受理。
3. 2. 1	住居表示（藤原1～8丁目、旭町1～6丁目）実施。
3. 2. 1	北総開発鉄道北総線 新鎌ヶ谷駅～京成高砂駅間の試運転始まる。
3. 2. 5	船橋ケーブルネットワーク（株）が郵政省からCATVの放送施設設置の許可を受ける。
3. 3. 16	海老川丸山橋完成。
3. 3. 31	北総開発鉄道北総線 新鎌ヶ谷駅～京成高砂駅間全線開通。
3. 4. 1	新基本計画「ふなばし未来 2001」がスタート。
3. 4. 1	公文書公開制度及び個人情報保護制度がスタート（公文書公開コーナー開設）。
3. 4. 1	船橋市立看護専門学校創立（県内初）。
3. 4. 1	市機構改革、都市デザイン課、総合交通対策課、監理課、都市計画課、文化課、消防局査察課及び高齢化社会対策室を新設。
3. 4.	外国人向け英語版市民手帳刊行。
3. 4. 12	JR・船橋駅北口おまつり広場完成。
3. 4. 21	市議会議員選挙。
3. 5. 11	医療センターにMRI（磁気共鳴断層撮影装置）・リハビリ棟完成（6月1日から業務開始）。
3. 5. 15	「松が丘市民の森」、「坪井市民の森」オープン。
3. 5. 25	薬台公民館開館（薬台児童ホーム、老人憩いの家併設）。
3. 6. 20	西浦・藤原町（3・4・22号）線の一部開通（行田団地～国道14号線間）。
3. 6. 21	海老川八千代橋完成。
3. 7. 1	新京成線北習志野駅前通りにパーキングチケット制導入。
3. 7. 5	外国語による外国人のための相談窓口開設。
3. 8. 1	高齢化社会対策推進本部設置。
3. 8. 2	船橋市都市デザイン委員会発足。
3. 8. 2	県立二和高等学校 全国高等学校演劇大会で日本一（2回目）。
3. 8. 22	古和釜中学校女子バスケットボール部が全国大会で優勝。
3. 9. 12	衆議院厚生委員会が南部清掃工場を視察。
3. 9.	新京成沿線に大型フラワーライン整備（前原駅～高根公団駅間）。
3. 10. 1	北図書館オープン（二和公民館、二和連絡所併設）。
3. 10. 1	電気自動車「そらすまし1号」を導入。
3. 10. 7	日本で初めての船橋方式による「在宅医療・介護支援センター」オープン。
3. 10. 31	農業センターがオープン。

市勢

年月日	事項
3. 12. 2	「ふなばし市民カード」による住民票の自動交付スタート。
3. 12. 7	三田中学校が「全国学校合奏コンクール」で4年連続日本一。
3. 12. 22	全国高校駅伝競走大会で市立船橋高等学校が男女アベックで準優勝。
4. 1. 4	財団法人船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター設立。
4. 1. 7	市立船橋高等学校 全国高等学校サッカー選手権大会で第3位。
4. 1. 23	「共に生きる明日に向かって」をテーマに女性問題の全国会議「女性問題都市会議」が開催される。
4. 2. 20	海老川・長津川第一期改修事業完了。
4. 4. 1	精神薄弱児通園施設「藤原学園」が保育園の遊休施設を全面的な改築移転し、「さざんか学園」として新たにスタート。
4. 4. 1	北部清掃工場大規模改造工事完了、再稼働。
4. 4. 1	船橋ケーブルネットワーク（FCN）開局。
4. 4. 29	ふなばし海浜公園に南部清掃工場の余熱を利用した「温水プール」オープン。
4. 4.	「牧の里公園」、「藤原市民の森」オープン。
4. 5. 22	消防局の救急救命士第1号誕生。
4. 5. 28	海老川13番目の太郎橋完成。高欄架替事業完了。
4. 7. 20	社会福祉法人南生会 特別養護老人ホーム「南生苑」オープン。
4. 8.	市立船橋高等学校 全国高校総体で陸上女子400mリレー優勝・サッカー準優勝。
4. 9. 14	「福祉と緑の都市」を宣言。
4. 9. 17	皇后さま「中国現代絵本原画展」ご覧のため船橋ご訪問。
4. 10. 1	二和出張所オープン。
4. 11. 1	救急ステーション完成。
4. 11. 1	全国に先駆けて医師同乗システムを採用した「特別救急隊」スタート。
4. 11. 1	法田中学校吹奏楽部「全日本吹奏楽コンクール中学の部」で金賞受賞。
4. 11. 22	完全週休2日制スタート。
4. 12. 1	福祉と緑の都市宣言記念事業 老人医療費の助成対象年齢を68歳に引き下げ。
4. 12. 5	「全国学校合奏コンクール」で三田中学校が5年連続日本一、小栗原小学校が5回目の日本一。
4. 12. 20	市立船橋高等学校 全国高校駅伝競走で女子優勝（2度目）。
5. 1. 10	本町2丁目再開発ビル「スクエア21」完工。
5. 1. 12	「船橋市民ギャラリー」、「船橋茶華道センター」オープン。
5. 2. 9	京成本線連続立体交差事業起工式。
5. 3. 26	市立船橋高等学校 春の甲子園に2度目の出場で初勝利（第65回選抜高等学校野球大会）。
5. 4. 1	全国初のドクターカーシステムの24時間運用スタート。
5. 4. 1	「大穴新谷津公園」、「高野台市民の森」オープン。
5. 4. 29	福祉と緑の都市宣言記念事業フェスティバル開催。

年月日	事項
5. 5. 1	船橋方式による中学校給食スタート（習志野台、高根、法田中学校）。
5. 5. 8	松が丘公民館オープン（23 館目）。
5. 6. 20	市長選挙。
5. 7. 1	財団法人船橋市文化・スポーツ公社設立。
5. 7. 1	清掃センター完成。
5. 7. 19	第 17 代市長に大橋和夫就任（4 期目）。
5. 8. 8	県立船橋二和高等学校 全国高等学校演劇大会で日本一（3 度目）
5. 9. 27	建設省の「環境共生モデル都市（エコシティ）」に指定される。
5. 10. 20	身体障害者福祉作業所「太陽」及び県内初の身体障害者福祉ホーム「若葉」オープン。
5. 11.	JR・船橋駅南口・本町通り商店街活性化事業スタート。
5. 12. 15	高瀬下水処理場起工式。
6. 1. 11	老人保健福祉計画作成委員会から老人保健福祉計画に関する提言を受理。
6. 1. 13	船橋市総合体育館オープン。
6. 2. 22	高根川に浄化施設が竣工通水式。
6. 3. 10	市立看護専門学校第一回卒業式。
6. 3. 28	財団法人船橋市福祉サービス公社設立。
6. 4. 1	JR・3 駅（船橋駅、西船橋駅、津田沼駅）に広報配布用スタンド設置供用開始。
6. 4. 2	老人訪問看護ステーションオープン。
6. 4. 22	北老人福祉センターオープン。医療センター新病棟落成式。
6. 4. 27	市医療センターに県指定の地域救命救急センターオープン。
6. 5. 11	さざんか歯科診療所、北部福祉会館内に設置オープン。
6. 5. 24	老人大学学生会館オープン（芝山 5 丁目）。
6. 6. 1	女性センターオープン。
6. 6. 15	市内小・中学校全校に酸素自動蘇生器を設置。
6. 7. 1	印鑑登録証明書自動交付スタート。
6. 8. 15	船橋ジュニアオーケストラ オーデンセ市で訪問演奏会。
6. 10. 3	北老人デイサービスセンター 北部福祉会館内にオープン。
6. 10. 3	習志野台出張所新築移転オープン。
6. 11. 1	借上福祉住宅制度スタート。
6. 11. 2	西安市と友好都市提携調印。
6. 12. 16	防災行政無線に連動させた地震警報システム運用開始。
7. 1. 8	市立船橋高等学校、第 73 回全国高校サッカー選手権大会で初優勝。
7. 2. 1	阪神・淡路大震災発生に伴い「防災対策まちづくり推進室」を設置。
7. 4. 1	ふなばしレンタサイクル法典開設。
7. 4. 23	市議会議員選挙。

市勢

年月日	事項
7. 5. 10	船橋市と西安市の小・中・高校が友好学校調印。 (市場小と大雁塔小、船橋中と育才中、市立船橋高校と第 85 中)
7. 5. 30	クリーン船橋 530 推進員 530 名委嘱。
7. 6. 16	下水道高瀬幹線管渠建設工事発進式。
7. 8. 1	環境共生まちづくり条例施行。
7. 10. 1	「船橋市福祉のまちづくり環境整備指針」施行。
7. 10. 1	第 16 回国勢調査（世帯 203,510、人口 540,817 人）。
7. 10. 26	京葉道路船橋インターチェンジ千葉方向入口開通。
7. 12. 21	京葉道路花輪インターチェンジ千葉方向入口開通。
8. 2. 19	公共下水道高瀬処理区幹線管渠貫通式。
8. 2. 26	船橋市行政改革大綱策定。
8. 4. 11	二俣交差点、千葉方面立体化完成、供用開始。
8. 4. 27	東葉高速鉄道開業。
8. 5. 10	西部福祉会館オープン。
8. 5. 16	海水利用の大規模消火システム一部稼働。
8. 5. 25	高根台公民館オープン（24 館目、高根台出張所併設）。
8. 7. 1	市内 6 出張所に「福祉ガイドコーナー」設置。
8. 8. 1	市立中学校全てに外国人語学指導助手（A L T）を配置。
8. 8. 8	下水道三田幹線管渠建設工事発進式。
8. 10. 13	八木が谷中学校、全日本ギターコンクール学校の部で最優秀賞受賞。
8. 10. 25	アンデルセン公園オープン。
8. 12. 10	御滝中学校、平成 8 年度全国学校合奏コンクールで最優秀賞受賞。
8. 12. 14	海水利用の大規模消火システム全面稼働。
9. 1. 8	市立船橋高等学校、第 75 回全国高校サッカー選手権大会で優勝（2 度目）。
9. 3. 3	戸籍事務のコンピュータ化を開始。
9. 3. 31	船橋市母子保健計画（通称すこやか“ふなばし” 21 プラン）策定。
9. 4. 1	ペットボトルの収集がスタート。
9. 4. 16	市制施行 60 周年記念式典。
9. 6. 22	市長選挙、市議会議員補欠選挙。
9. 7. 1	船橋市行政手続条例施行。
9. 7. 19	第 18 代市長に藤代孝七就任。
9. 10. 1	東消防署前原分署が新たにオープン。
9. 10. 1	船橋市緑の基本計画策定。
9. 10. 15	船橋郵便局と「災害時における相互協力に関する覚書」締結。
9. 10. 28	南部清掃工場内に、ごみ焼却灰再資源化工場着工。

年月日	事項
9. 11. 22	第一回市政懇談会開催（夏見地区）。
10. 1. 20	飛ノ台史跡公園「展示施設」起工式。
10. 2. 5	「障害者施策に関する計画」策定。
10. 2. 13	本町4丁目地区市街地再開発ビル起工式。
10. 4. 1	痴ほう性老人の徘徊による事故防止のための「SOSネットワーク」スタート。
10. 4. 1	粗大ごみ収集の電話申し込み、指定ごみ袋制スタート。
10. 4. 1	市長交際費の原則全面公開。
10. 4. 1	介護保険課新設。
10. 4. 20	三山市民センターオープン（三山連絡所も同センター内で業務開始）。
10. 4. 23	ケア・リハビリセンターオープン（リハビリセンター・ケアハウス・在宅介護支援センターの複合施設で、リハビリセンターは10月より業務開始）。
10. 5. 26	国道296号中野木～花輪間が4車線に拡幅。
10. 6. 1	ポイ捨て防止条例施行。
10. 6. 1	三山老人デイサービスセンターオープン。
10. 7. 1	市機構改革実施（福祉局や市長公室等の設置）。
10. 8. 8	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校総合体育大会で優勝（3度目）。
10. 8. 26	ボランティア大学福祉学科開校・入学式。
10. 9. 1	校外学習に利用できる「キッズ船橋号」運行開始。
10. 10. 24	アンデルセン公園に「童話館」オープン。
10. 12. 5	「車椅子ウオーキングフェスティバル」を開催。
10. 12. 8	「とっておきの芸術祭り・in・ふなばし」を市民ギャラリーで開催（～13）。
11. 1. 23	介護保険シンポジウムを開催。
11. 1. 26	コロンビア西部地震の被災地へ市消防職員2名を救助活動に派遣（～2.24）
11. 2. 17	第3次行政改革大綱を策定。
11. 2. 23	三山雨水幹線管渠の工事に着手。
11. 3. 27	地域振興券を市内30か所で交付。（～28）
11. 4. 1	ごみ焼却灰再資源化施設が完成。
11. 4. 1	高瀬下水処理場の第1期工事終了に伴い、一部地域で供用開始。
11. 4. 1	西浦処理場の立て替え工事終了。
11. 4. 1	（株）船橋市緑の基金、船橋市福祉サービス公社、（社）船橋市社会福祉協議会、船橋市生きがい福祉事業団体が「船橋市福祉ビル」に移転。
11. 4. 25	市議会議員選挙。
11. 7. 1	違法駐車等防止条例を施行。
11. 7. 1	本中山連絡所オープン。
11. 9. 1	南部福祉会館オープン。

市勢

年月日	事項
11. 9. 1	「子育てなんでも相談窓口」設置。
11. 10. 1	ディーゼル・電気併用のハイブリットエンジン付社会教育バス「さざなみ号」導入。
11. 10. 1	介護保険サービスの介護認定申請受け付け始まる。
11. 10. 10	八木が谷中学校、全日本ギターコンクール学校の部で特別金賞受賞。
11. 11. 21	法田中学校吹奏楽部、全日本マーチングフェスティバル全国大会銀賞を受賞。
11. 11. 23	地方自治体として初の「ウエステック大賞・‘99」（ごみの減量と再資源化）の厚生大臣賞受賞。
12. 1. 8	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校サッカー選手権大会優勝（3度目）。
12. 2. 22	高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画を策定。
12. 2. 25	北部・南部両清掃工場がISO14001の認証を取得。
12. 3. 25	道路交通法の改正に伴いチャイルドシート無料貸し出し開始。
12. 3. 30	八木が谷小学校ミニバスケットボールクラブ（女子）、全国ミニバスケットボール大会初優勝。
12. 4. 1	放課後ルームスタート。
12. 4. 1	まちづくりの指針「新総合計画」策定。
12. 4. 1	第1回オーデンセ市国際アンデルセン賞を受賞。
12. 4. 1	介護保険制度スタート。
12. 4. 1	福祉局に「地域福祉課」新設。
12. 4. 25	薬園台駅前広場「第10回緑のデザイン賞」の緑化大賞を受賞。
12. 5. 11	JR・船橋駅南口再開発ビル着工。
12. 5. 13	海神公民館オープン（25館目）。
12. 7. 7	中央図書館移転オープン。
12. 8. 10	船橋港親水公園オープン（同日、竣工記念花火大会開催）。
12. 9. 30	海神中学校、全日本吹奏楽コンクール全国大会銀賞を受賞。
12. 10. 1	第17回国勢調査。
12. 10. 1	子育て支援センター事業開始。
12. 10. 1	市職員によるまちづくり出前講座開始。
12. 10. 1	福祉サービス公社、ファミリーサポートセンター事業開始。
12. 10. 9	法典公園（愛称：グラスポ）オープン。
12. 10. 9	八木が谷中学校、全日本ギターコンクール合奏部門銀賞を受賞。
12. 10. 9	前原中学校、全日本ギターコンクール合奏部門銅賞を受賞。
12. 11. 4	飛ノ台史跡公園博物館オープン。
12. 11. 19	法田中学校吹奏楽部、全日本マーチングフェスティバル全国大会金賞を受賞。
13. 1. 4	津田沼駅前連絡所が東部公民館内に移転。（津田沼連絡所としてスタート）
13. 2. 15	船橋市都市計画マスタープラン公表。
13. 3. 3	清川記念館収蔵作品展開催。
13. 3. 21	二重川改修工事スタート。

年月日	事項
13. 4. 1	企画部に「中核市推進課」新設。保健福祉部に「保健所準備課」新設。
13. 4. 1	道路部に「交通安全課」新設。
13. 4. 1	船橋市男女共同参画計画施行。
13. 4. 26・27	横須賀市と災害救助訓練を実施。
13. 6. 5	習志野台第一小学校通学路に歩行者思いやり信号設置。
13. 6. 24	市長選挙、市議会議員補欠選挙。
13. 6. 25	I T講習会開催。
13. 6. 25	新高根キッズハウスオープン。
13. 7. 2	まちづくり活動に関する相談窓口開設。
13. 7. 17	図書館ホームページ開設。
13. 7. 19	第 19 代市長に藤代孝七就任（2 期目）。
13. 8. 8	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校総合体育大会で優勝（4 度目）。
13. 9. 27	JR 下総中山駅北口交通広場完成。
13. 10. 8	八木が谷中学校、全日本ギターコンクール合奏部門金賞を受賞。
13. 10. 19	ヘイワード市で姉妹都市提携 15 周年記念式典開催。
13. 10. 28	中国西安市へ中学生の使節団を派遣。
13. 12. 3	市内の都市計画の情報が閲覧できるタッチパネル式パソコンを都市計画課に設置。
14. 6. 1	船橋市立特別養護老人ホーム「朋松苑」がオープン。
14. 6. 1	アンデルセン公園の入場者が 200 万人達成。
14. 6. 7	堂本暁子県知事に「中核市指定の申出に係る県の同意」を申し入れ。
14. 7. 1	公文書公開条例を全面的に改正した情報公開条例がスタート。
14. 7. 15	船橋市環境マップ（C D－R O M 版）公開開始。
14. 10. 6	船橋駅南口再開発ビルの名称が「F a c e（フェイス）」に決定。
14. 10. 13	八木が谷中学校、全日本ギターコンクール最優秀賞を受賞。
14. 11. 1	船橋市が中核市となることが正式決定。
14. 11. 16	高根台子育て支援センターオープン。
14. 11. 28	都市計画道路西浦藤原線の行田団地以北部分が開通。
14. 12. 1	放課後ルームの全小学校区設置が完了。
14. 12. 4	主要地方道船橋我孫子線の中野木交差点立体交差（中野木高架橋）が全面開通。
15. 1. 13	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校サッカー選手権大会で優勝（4 度目）。
15. 4. 1	中核市・船橋誕生。
15. 4. 1	船橋市保健所を開設。
15. 4. 1	福祉局を健康福祉局に、保健福祉部を健康部に名称変更し、子育て支援部を新設。
15. 4. 1	子育て支援部に「児童育成課」新設。
15. 4. 1	環境部に「産業廃棄物課」新設。

市勢

年月日	事項
15. 4. 1	企画部企画調整課内の電子行政推進班と総務部情報処理課を統合し、企画部内に「電子行政推進課」を新設。
15. 4. 1	企画部企画調整課内に「行財政改革推進室」を設置。
15. 4. 17	船橋駅南口再開発ビル「F a c e (フェイス)」がオープン。
15. 4. 21	船橋駅前総合窓口センター業務開始。
15. 4. 21	船橋市市民活動サポートセンター業務開始。
15. 4. 21	船橋市民文化創造館業務開始。
15. 4. 25	西船近隣公園が全面オープン。
15. 4. 27	市議会議員選挙。
15. 6. 1	市再生センターがリニューアルオープン。
15. 9. 20	前原児童ホームがリニューアルオープン。
15. 10. 2	財政健全化プラン策定。
15. 10. 13	市立船橋高等学校サッカー部、高円宮杯ユース選手権で優勝。
15. 10. 13	八木が谷中学校ギター部全日本ギターコンクールで特別金賞を受賞。
15. 11. 13	三番瀬再生計画検討会議（円卓会議）が再生計画素案を発表。
16. 1.	医療センターに感染症外来診察室を設置。
16. 1. 6	インターネットで図書館図書の予約が可能となる。
16. 1. 21	横須賀市と災害時合同訓練を実施。
16. 3. 31	市交通・火災等災害共済を廃止。
16. 4. 1	市民生活部に「市民防犯課」新設。
16. 4. 1	建設局都市計画部を改編し「まちづくり政策課」と「技術管理課」を新設。
16. 4. 1	特別養護老人ホーム「三山園」がリニューアルオープン。
16. 4. 1	自動車学校・教習所の送迎バスを利用した「高齢者支援協力バス」の試験運行開始。
16. 4. 1	老人大学、ボランティア大学、スポーツ健康大学、生涯学習コーディネーター養成講座を統合し「ふなばし市民大学校」を開校。
16. 4. 1	放課後ルームの朝夕の開設時間を延長。
16. 4. 1	図書館の祝日開館開始。
16. 6. 5	中央卸売市場が市場を開放する「ふなばし楽市」を開催。
16. 6. 18	市民安全パトロールカー「まもる号」導入。
16. 7. 1	西・北老人福祉センターの送迎バスを利用した「高齢者支援協力バス」の試験運行開始。
16. 7.	下水道使用料のコンビニ納付がスタート。
16. 9.	船橋駅周辺の駐車場の空き情報等を携帯電話サイトと HP で提供。
16. 9. 3	2 台目の市民安全パトロールカー「みはる号」導入。
16. 10. 1	現行の「船橋市ポイ捨て条例」全面改正して「路上喫煙及びポイ捨て防止条例」がスタート。
16. 11. 27	京成本線の上り線が高架運転開始。

年月日	事項
17. 1. 10	市立船橋高校、全国高校サッカー大会で準優勝。
17. 1. 24	西船橋出張所がオープン。
17. 3. 15	公用車による防犯パトロールを開始。
17. 4. 1	健康政策課内にリハビリテーション病院準備室を設置。
17. 4. 1	総合教育センター内に教育支援室を設置。
17. 4. 1	クリーン推進課内にごみゼロ計画室を設置。
17. 4. 1	西部消防保健センターがオープン。
17. 4. 1	全市立校で二期制がスタート。
17. 4. 1	図書事務職員を市立全 55 小学校に配置。
17. 5.	毎月第 3 土曜日に実施される「ふなばしハッピーサタデー」がスタート。
17. 6.	国民健康保険料のコンビニ納付がスタート。
17. 6. 19	市長選挙。
17. 7.	市民を対象に自動体外式除細動器（A E D）の講習を開始。
17. 7. 19	第 20 代市長に藤代孝七就任（3 期目）。
17. 8.	千葉きらめき総体。
17. 10. 1	「ひやりハッと防犯情報」のメール配信を開始。
17. 10. 1	第 18 回国勢調査。
17. 11. 1	リハビリテーション病院起工式。
18. 4. 1	企画部に「市民協働課」を新設。福祉サービス部に「包括支援課」を新設。建設局都市計画部を改編し「都市総務課」を新設。都市計画課内に「まちづくり支援室」を新設。みどり推進課内に「緑化フェア準備室」を新設。
18. 5. 3	少年野球場「豊富運動広場」がオープン。
18. 6. 1	夜間対応型訪問介護サービス開始。 市ホームページのトップページにバナー広告の掲載を開始。
18. 6. 15	「船橋安全安心メール」配信を開始。
18. 8. 21	第 24 回全国都市緑化ふなばしフェアの愛称「おとぎの国の花フェスタ in ふなばし」とシンボルマークが決定。
18. 10. 1	公民館の使用料、貸出時間区分等の改正。
18. 11. 25	京成本線（海神駅～船橋競馬場駅間）の完全高架化が完成。
18. 12. 1	夜間急病診療所で小児科専門医による 365 日診療体制が開始。
19. 1. 4	体育施設のインターネット予約を開始。
19. 1. 15	「ふなばし市民活動情報ネット」ホームページ開設。
19. 1. 31	市の各課・各施設の 152 人を「市民協働推進員」として任命。
19. 3. 6	インターネットを利用して公民館の予約や空き状況の確認ができる「生涯学習施設予約管理システム」がスタート。
19. 3.	一般廃棄処理基本計画を策定。「広報ふなばし」市制 70 周年記念特集号を発行。

市勢

年月日	事項
19. 4. 1	「第 24 回全国都市緑化ふなばしフェア」の半年前祭を開催。
19. 4. 1	医療センターに地域医療連携科を設置。
19. 4. 1	総合消防情報システムを導入。
19. 4. 2	動物愛護指導センターオープン。
19. 4.	高根台第一小学校と高根台第三小学校を統合。
19. 4.	通院の医療費助成を小学校就学前までに拡大。
19. 4.	市税のコンビニ納付がスタート。
19. 4.	全小・中学校で独自の英語教育がスタート。
19. 4. 22	市議会議員選挙。
19. 6. 24	市制 70 周年記念事業「NHK ラジオ体操」を開催。
19. 7. 1	犯罪のないまちづくり条例を施行。
19. 7. 3	「船橋市産小松菜」ブランド化。
19. 8. 1	公的インキュベーション施設「ベンチャープラザ船橋」オープン。
19. 8. 5	市立船橋高等学校サッカー部 全国高校総合体育大会優勝（5 度目）。
19. 8. 8	市立船橋高等学校野球部 第 89 回全国高等学校野球選手権大会出場。
19. 8. 12	市制 70 周年記念事業「出張！なんでも鑑定団 in 船橋」を開催。
19. 8. 15	防災マップ（洪水ハザードマップ）配布。
19. 8. 19	市制 70 周年記念事業「船橋少年の船」中国・上海市へ就航。
19. 9. 2	市制 70 周年記念事業「NHK のど自慢」を開催。
19. 9. 8	咲が丘小学校合唱部全国学校音楽コンクール関東甲信越大会で銅賞を受賞。
19. 10. 1	納税コールセンター開設。
19. 10. 2	第 24 回全国都市緑化ふなばしフェア開催。（～11.4）
19. 10. 2	市の花 ヒマワリ、カザグルマ制定。
19. 10. 7	市制 70 周年記念スポーツの祭典開催。
19. 10. 7	習志野第一小学校吹奏楽部東日本学校吹奏楽大会で金賞を受賞。
19. 10. 8	八木が谷中学校ギター部全日本ギターコンクールで金賞を受賞。
19. 10. 19	市制 70 周年記念式典。
19. 10. 19	市立船橋高等学校吹奏学部全日本吹奏楽コンクールで銀賞を受賞。
19. 11. 7	市民参加型市場公債地方債「船橋みらい債」発行。
19. 11. 17	フェイスビルと京成船橋駅接続デッキ利用開始。
19. 12. 1	市制 70 周年記念事業「チェコ・プラハ管弦楽団演奏会」を開催。
20. 3. 17	商店街の空き店舗を活用した「お休み処」（高齢者等が気軽に立ち寄り自由に語り合う場）がオープン。
20. 3.	東葛飾・葛南地域 4 市（船橋市・市川市・松戸市・鎌ケ谷市）政令指定都市研究会による共同研究の中間報告書を策定。

年月日	事項
20. 4. 1	企画部に「国体準備室」を設置。税務部に「債権回収対策班」を新設。健康部に「特定健康診査室」を新設。福祉サービス部に「療育支援課」を新設。
20. 4. 21	リハビリテーション病院オープン。
20. 4. 26	西部公民館がリニューアルオープン。
20. 4.	「西船橋産枝豆」ブランド化。
20. 6. 28	夜間急病診療所が市役所別館に移転し夜間休日急病診療所としてオープン。
20. 7. 1	廃棄物の減量、資源化及び適正処理に関する条例を施行。
20. 7. 6	アンデルセン公園の入場者が 500 万人を達成。
20. 8. 4	市立船橋高等学校サッカー部 全国高校総合体育大会優勝。(6 度目)
20. 9.	国民健康保険「特定保健指導」がスタート。
20. 12. 15	医療センター新館完成。
21. 1. 22	新型インフルエンザ対応総合訓練実施。
21. 1. 27	北習志野駅前ビルオープン、ペDESTリアンデッキ利用開始。
21. 2. 2	建築物北側における斜線型高さ制限に加え、最高高さ制限を定めた「都市計画高度地区の変更」を告示。
21. 3. 14	市地球温暖化対策地域協議会設立。
21. 3.	東葛飾・葛南地域 4 市（船橋市・市川市・松戸市・鎌ヶ谷市）政令指定都市研究会が報告書を策定。
21. 4. 1	企画部に「国体推進課」を新設。税務部に「債権回収対策室」を新設。建築部に「公共建築物保全課」を新設。地方公営企業法を全部適用し病院事業管理者を設置し「病院局」を新設。
21. 4. 1	医療センターに「呼吸器内科」「消化器内科」「代謝内科」「緩和ケア内科」「リハビリテーション科」の 5 診療科を増設。
21. 4. 1	旧高根台第一小学校に特別支援学校小学部を移転、「たんぽぽ親子教室」「あじさい教室」を統合し「たんぽぽ親子教室」として移転。
21. 4. 18	市中央卸売市場開設 40 周年記念式典開催。
21. 5. 12	定額給付金・子育て応援特別手当の振込を開始。
21. 5. 15	インターネット上の意見交換の場、市民電子会議室「ふなばし@コミュニティ」を開設。
21. 5. 30	市商店会連合会「ふなばしダブルプレミアム商品券」を発売（プレミアム分 4500 万円を市が補助）。
21. 6. 8	市内で初めて新型インフルエンザ感染を確認。
21. 6. 21	市長選挙。
21. 6. 28	オーデンセ市姉妹都市提携 20 周年記念代表団来船。
21. 7. 1	すべての連絡所に「福祉ガイドコーナー」を開設。
21. 7. 19	第 21 代市長に藤代孝七就任（4 期目）。
21. 9. 28	人口 60 万人を超える。
21. 10. 1	環境保全課内に地球温暖化対策推進室を設置。
21. 10. 9	全国初「外国人のための応急手当普及員講習」を開催。
21. 10.	西安市友好都市提携 15 周年記念代表団来船。

市勢

年月日	事項
21. 11. 27	「船橋みらい債」発行。
22. 1. 26	東葛南部医療圏初の「緩和ケア病棟」開設。
22. 2. 1	「市民公益活動公募型支援事業」受付開始。
22. 2. 1	住居表示（坪井西 1・2 丁目、坪井東 1～6 丁目）実施。
22. 4. 1	企画部に「行政経営室」を子育て支援部に「保育計画課」及び「家庭児童相談室」を新設。
22. 5. 23	アンデルセン公園の入場者が 600 万人を達成。
22. 7. 1	景観条例施行。
22. 8. 7	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校総合体育大会で優勝（7 度目）。
22. 8. 10	都市計画道路「習志野公団線（3・4・30 号線）」が開通。
22. 9. 25	第 65 回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）開催（～10.5）。
22. 10. 1	第 19 回国勢調査実施。
22. 10. 23	第 10 回全国障害者スポーツ大会（ゆめ半島千葉国体）開催（～10.25）。
23. 1. 31	住居表示（馬込西 1～3 丁目）実施。
23. 2. 20	坪井公民館オープン。
23. 4. 1	税務部に「債権管理課」、下水道部に「下水道総務課」、「下水道河川計画課」、「下水道施設課」、「下水道河川管理課」を設置。
23. 4. 1	「地域包括支援センター」を市内 3 か所に増設。
23. 4. 24	市議会議員選挙。
23. 8. 1	医療センターに「歯科口腔外科」を増設。
23. 10. 1	船橋市債権管理条例施行。
23. 10. 21	市長が西安市名誉市民の称号を授与される。
23. 10. 25	ヘイワード市姉妹都市提携 25 周年記念使節団派遣。
23. 11. 15	市民投票で原動機付自転車等のナンバープレートデザインが決定。
24. 1. 9	市立船橋高等学校サッカー部、全国高校サッカー選手権大会優勝（5 度目）。
24. 4. 1	「危機管理課」、「防災室」、「市民安全推進課」、「総務課」、「公園緑地課」、「保育施設整備課」を設置し、企画部・財政部を「企画財政部」に統合。
24. 4. 1	「船橋市総合計画後期基本計画」の策定。
24. 4. 1	都市計画道路 南本町馬込線（3・3・7 号線）の一部開通。（本町 1 丁目～本町 7 丁目）
24. 4. 10	アンデルセン公園の入場者が 700 万人を達成。
24. 5. 1	法典公民館がリニューアルオープン。
24. 7. 1	大穴多目的運動広場オープン。
24. 7. 1	船橋市暴力団排除条例を施行。
25. 1. 1	船橋市地域防災計画を改定。
25. 1. 25	「船橋にんじん」が地域ブランドに認定。
25. 4. 1	「子ども政策課」を設置。

年月日	事項
25. 4. 1	医療センターに「腫瘍内科」「消化器外科」「乳腺外科」の3診療科を増設。
25. 6. 23	市長選挙。
25. 7. 14	ふなばし三番瀬海浜公園にバーベキューエリアを開設。
25. 7. 19	第22代市長に松戸徹就任。
25. 7. 30	市立船橋高等学校体操部 全国高等学校総合体育大会で男子団体総合優勝。
25. 8. 1	「船橋まちなかAED事業」により市内コンビニエンスストア 196店舗にAED設置。
25. 8. 7	市立船橋高等学校サッカー部 全国高等学校総合体育大会で優勝（8度目）。
25. 9. 20	東関東自動車道 谷津船橋インターチェンジ開通。
25. 10. 1	船橋市空き家等の適正管理に関する条例を施行。
26. 1. 19	アンデルセン公園の入場者が800万人を達成。
26. 3.	防災マップ（地震・津波）配布。
26. 3. 21	オーデンセ市姉妹都市提携25周年記念事業「アンデルセン公園 花と緑のフェア」を開催（～4.20）。
26. 4. 1	介護保険課内に、「地域包括ケアシステム推進室」を設置。
26. 4. 1	中央卸売市場から「地方卸売市場」へ転換 管理課と業務課を統合し、「総務課」を設置。
26. 4. 1	危機管理課と防災室を統合し、危機管理課に一元化。
26. 4. 6	オーデンセ市姉妹都市提携25周年記念式典を開催。
26. 6. 25	浜町公民館がリニューアルオープン。
26. 8. 4	市立船橋高等学校体操競技部 全国高等学校総合体育大会で男子団体総合優勝（連覇）。
26. 9. 22	北部公民館・豊富出張所がリニューアルオープン。
26. 9. 30	船橋小学校、新校舎が完成。
26. 10. 22	西安市で西安市友好都市提携20周年記念式典開催。
26. 10. 26	第1回「ふなばしミュージックストリート」を開催。
26. 11. 14	「船橋のなし」が地域ブランドに認定。
27. 3. 1	人口が62万人を超える（全国の市では21番目）。
27. 4. 1	環境部を再編し、「環境政策課」、「資源循環課」、「廃棄物指導課」を設置。
27. 4. 1	「財産管理課」、「地域子育て支援課」を設置。
27. 4. 1	「債権管理課」、「納税課」を「債権管理課」に統合し課内に「民事債権室」を設置。
27. 4. 1	商工振興課内に「ふなばし観光・ブランド創造室」を設置。
27. 4. 1	学務課内に「学校経理室」を設置。
27. 4. 26	市議会議員選挙。
27. 5. 3	千葉ジェッツとホームタウンに関する協定を締結。 （船橋市と株式会社 ASPE との相互連携・支援協力に関する協定書）
27. 8. 2	アンデルセン公園の入場者が900万人を達成。

市勢

年月日	事項
27. 10. 1	第 20 回国勢調査実施。
27. 10. 1	保健福祉センターがオープン。
27. 10. 1	福祉サービス部が所管している高齢者施策に関する業務を健康部に移管し、「健康部」を「健康・高齢部」に再編。
27. 10. 1	「地域保健課」、「健康づくり課」、「指導監査課」、「保育認定課」及び「公立保育園管理課」を設置。
27. 11. 2	「江戸前船橋瞬めすずき」が千葉ブランド水産物に認定。
28. 3. 21	船橋オートレース場で最後のレースと閉場式を開催。
28. 3. 31	市立小・中学校等のすべての耐震化が完了。
28. 3. 31	船橋駅南口を中心に「デジタルサイネージ」と「無料Wi-Fi」を開始。
28. 4. 1	習志野台地域包括支援センターを新設。
28. 4. 1	「法務課」、「都市政策課」、「道路計画課」及び「道路維持課」を設置。
28. 6. 18	クボタスピアーズと「相互連携・支援協力に関する協定」を締結。
28. 6. 30	JR 船橋駅近くに「インフォメーションセンター」がオープン。
28. 7. 31	アンデルセン公園の入場者が 1000 万人を達成。
28. 8. 2	市立船橋高等学校サッカー部 全国高等学校総合体育大会で優勝（9 度目）。
28. 8. 5	市立船橋高等学校体操競技部 全国高等学校総合体育大会で男子団体総合優勝（4 度目）。
28. 10. 5	高瀬下水処理場上部運動広場が完成。
28. 10. 21	西図書館がリニューアルオープン。
28. 10.	ヘイワード市姉妹都市提携 30 周年記念使節団来船。
28. 12. 8	「ふなばし森のシティ」がフランス政府の「エコカルティエ認証」（環境配慮型地区）を取得。（仏国外初）
29. 1. 9	千葉ジェッツが天皇杯全日本総合バスケットボール選手権大会で優勝（チーム創設 6 年）。
29. 4. 1	市制施行 80 周年記念ロゴマーク・キャッチコピーが決定。
29. 4. 1	北部清掃工場（ふなばしメグプラ）がリニューアルオープン。
29. 4. 1	北部清掃工場余熱利用施設（ふなばしメグスパ）がオープン。
29. 4. 1	「国際交流課」「地域包括ケア推進課」「保健所保健総務課」及び「家庭福祉課」を新設。
29. 4. 1	「民事債権室」を「債権管理課」に統合。
29. 4. 1	「学校経理室」を「学務課」に統合。
29. 4. 18	船橋市の常住人口が 63 万人を突破。
29. 4. 22	吉澤野球博物館資料展示室が船橋アリーナにオープン。
29. 6. 18	船橋市長選挙、船橋市議会議員補欠選挙。
29. 7. 19	第 23 代市長に松戸徹就任（2 期目）。
29. 7. 1	ふなばし三番瀬環境学習館がオープン。
29. 7. 17	運動公園プールがリニューアルオープン。

年月日	事項
29. 8. 2	市制 80 周年記念 1 万発打ち上げ「船橋港親水公園花火大会」を開催。
29. 8. 9	J R 船橋駅南口から本町通りを結ぶ、都市計画道路 3・4・11 号線が全線開通。
29. 10. 10	デンマーク王国のメアリー皇太子妃がアンデルセン公園へ訪問（2 度目）。
29. 10.	ヘイワード市・西安市 姉妹都市・友好都市文化団が来訪。
29. 11. 3	市制施行 80 周年記念式典を開催。
29. 12. 28	市立船橋高等学校第 3 体育館が竣工。
30. 1. 7	千葉ジェッツふなばしが天皇杯全日本バスケットボール選手権大会で優勝（2 連覇）。
30. 1. 28	郷土資料館がリニューアルオープン。
30. 2. 9	J R 船橋駅南口駅前のペデストリアンデッキが開通。
30. 4. 1	医療センターに「脳神経内科」「救急科」の 2 診療科を増設。
30. 6.	アメリカ男子体操チームが市立船橋高等学校で事前合宿。
30. 7. 11	国際天文学連合が小惑星 25892 番に「Funabashi」と命名したことを発表。
30. 7. 17	「船橋市と千葉工業大学との包括的な連携に関する協定」を締結。
30. 8. 6	市立船橋高等学校体操競技部 全国高等学校総合体育大会で男子団体総合優勝（5 度目）。
30. 10. 1	医療センターに「腎臓内科」「リウマチ科」の 2 診療科を増設。
30. 10. 27	坪井児童ホームがオープン。
31. 1. 13	千葉ジェッツふなばしが天皇杯全日本バスケットボール選手権大会で優勝（3 連覇）。
31. 4. 1	東消防署古和釜分署・消防訓練センターが業務開始。
31. 4. 1	「行政経営課」を新設。
31. 4. 1	「国民年金課」を「国民健康保険課」に統合し、「国保年金課」を新設。
31. 4. 1	「男女共同参画センター」を「市民協働課」に統合し、「男女共同参画センター」を第 3 種事業所として設置。
31. 4. 1	消防局「財務課」を新設。消防局「指令課」を「警防課」に統合し、「警防指令課」を新設。
31. 4. 21	市議会議員選挙。
令和	
元. 8. 2	市立船橋高等学校体操競技部 全国高等学校総合体育大会で男子団体総合優勝（6 度目）。
元. 9. 1	船橋市を中央会場とした「第 40 回九都県市合同防災訓練」を高瀬町運動広場と京葉食品コンベンナート協議会南岸壁で実施し、延べ約 8,000 人参加。
元. 10. 8	四市複合事務組合の新たな斎場「しおかぜホール茜浜」が供用開始。
元. 10.	西安市友好都市 25 周年を記念し、西安市代表団・青少年芸術団が来船。
元. 11. 1	男女共同参画センターが FACE ビルに移転。
2. 1. 22	子育て世代包括支援センター「ふなここ」を地域保健課内に開設。
2. 2.	船橋市新型コロナウイルス感染症対策保健所本部を設置。
2. 3. 10	船橋市の常住人口が 64 万人を突破。
2. 4. 1	南部清掃工場がリニューアルオープン。
2. 4. 1	病院局に「新病院建設室」を新設。
2. 5. 11	自動車用「船橋ナンバー」の交付開始。
2. 7. 1	県弁護士会と「スクールロイヤー活用事業に関する協定」を締結。
2. 9. 1	日本大学生産工学部と「環境に関する連携協定」を締結。

市勢

年月日	事項
2. 10. 1	第 21 回国勢調査実施。
2. 10. 6	戸籍住民課に「おくやみコーナー」窓口開設。
2. 10. 12	金沢大学と下水中に含まれる新型コロナウイルスの調査に関する連携協定を締結（県内初）。
2. 11. 17	イオン株式会社と「船橋市とイオン株式会社との包括的な連携に関する協定」を締結。
2. 12. 11	大塚製薬株式会社と「船橋市と大塚製薬株式会社との健康づくりに関する包括連携協定」を締結。
3. 1. 15	株式会社カスミと「地域の買い物支援と見守り活動推進に関する協定」を締結。
3. 2. 1	船橋駅前総合窓口センター内に船橋市パスポートセンターを開設。
3. 3. 16	市消防局と株式会社千葉ジェッツふなばしと「船橋市と株式会社千葉ジェッツふなばしとの相互連携・協力に関する個別協定」を締結。
3. 4. 1	塚田南小学校創立。
3. 4. 1	包括支援課と地域包括ケア推進課を「地域包括ケア推進課」に統合。
3. 4. 1	ふなばし観光・ブランド創造室と商工振興課を「商工振興課」に統合。
3. 6.	新型コロナウイルスワクチン接種に対応するため、健康づくり課内に新型コロナウイルスワクチン接種事業を専任で担当する組織を設置。
3. 6. 1	千葉ジェッツふなばしが、Bリーグチャンピオンシップで初優勝。
3. 6. 20	船橋市長選挙、船橋市議会議員補欠選挙。
3. 7. 19	第 24 代市長に松戸徹就任（3 期目）。
3. 8. 16	「船橋市と株式会社メルカリ・株式会社ソウゾウとの連携に関する協定」を締結。
3. 10. 11	取掛西貝塚が船橋市初となる国史跡に指定される。
3. 10. 24	船橋市・ヘイワード市姉妹都市提携 35 周年記念式典開催。
3. 12. 14	株式会社 E プランと「災害時における物資の供給に関する協定」を締結。
3. 12. 16	ふなばしパートナーシップ宣誓制度を開始。
4. 1. 31	視聴覚センターを廃止。
4. 2. 8	株式会社セブン・イレブン・ジャパンと「ペットボトルリサイクル事業に係る協定」を締結。（県内初）
4. 2. 21	佐川急便株式会社と「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」を締結。
4. 3. 7	石井食品株式会社と「船橋市と石井食品株式会社との包括的な連携に関する協定」を締結。
4. 3. 28	イケア・ジャパン株式会社と「船橋市とイケア・ジャパン株式会社との包括連携協定」を締結。
4. 3.	第 3 次船橋市総合計画を策定。（令和 4 年度～令和 13 年度）
4. 4. 1	ふなばし市民大学校を総合教育センター 6・7 階に移転。
4. 4. 1	議会事務局の組織改正。「庶務課」を「総務調査課」に改称。
4. 4. 1	総務部の組織改正。「情報システム課」を「デジタル行政推進課」に改称し、「総務課」「法務課」の業務を集約し「総務法制課」を新設。「職員課」を分割して「人事課」を新設。
4. 4. 1	環境政策課に「ゼロカーボンシティ推進室」を新設。
4. 4. 11	千葉市、松戸市と「パートナーシップ宣誓制度に係る都市間連携に関する協定」を締結。
4. 4. 19	京葉瓦斯株式会社と「ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定」を締結。

年月日	事項
4. 4.	高瀬下水処理場で消化ガス発電を開始。
4. 4.	第3次船橋市総合計画を策定。
4. 5. 4	市立船橋高校野球部、春季県大会優勝。
4. 6.	クボタスピアーズがNTTリーグワン2022で3位（過去最高順位）。
4. 7. 13	京葉瓦斯株式会社と「津波時における一時避難施設としての使用に関する協定」を締結
4. 8. 8	市立船橋高等学校野球部 第104回全国高等学校野球選手権大会出場。
4. 8.	市立船橋高校 全国高等学校総合体育大会で体操男子団体優勝（3年ぶり7回目）、陸上女子4×400mリレー優勝、陸上女子三段跳優勝。
4. 9. 1	日本郵便株式会社と「包括的な連携に関する協定」を締結。
4. 10. 13	東武百貨店船橋店と「包括的な連携に関する協定」を締結。
4. 11.	船橋市都市計画マスタープラン（令和4年度～令和13年度）を策定。
5. 2. 2	自主夜間中学校「ふなラ〜ン」が開校。
5. 2. 8	「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を高齢者福祉分野の2団体、障害福祉分野の3法人と締結。
5. 3. 1	公民連携窓口「公民CONNECT」を政策企画課内に設置。
5. 3. 1	千葉ジェッツふなばしが天皇杯を制覇（4年ぶり4度目）。
5. 3. 31	金杉台中学校が閉校、御滝中学校と統合。
5. 4. 1	市の組織一部変更。「福祉政策課」「健康危機対策課」を新設。健康・高齢部を高 齢者福祉部と健康部に分割し、「地域保健課」「健康づくり課」を保健所から健康部 に移管。子育て支援部をこども家庭部とし、「こども政策課」「こども家庭支援課」「子 育て給付課」「児童相談所開設準備課」「保育運営課」「保育入園課」「地域子育て 支援課」「療育支援課」に再編。
5. 4. 23	市議会議員選挙。
5. 5. 20	クボタスピアーズ船橋・東京ベイがNTTリーグワン2022-23で初優勝。
5. 5.	千葉ジェッツふなばしが、Bリーグチャンピオンシップで準優勝。
5. 6. 2	東京東信用金庫と「災害発生時における帰宅困難者支援に関する協定」を締結。
5. 7. 11	船橋市、市川市、柏市、千葉市、習志野市、松戸市の6市による「パートナーシップ・ ファミリーシップ制度に係る都市間連携に関する協定」を締結。
5. 8. 26	東京2020オリンピックのホストタウンとしての実績が評価され、アメリカ体操協会か ら船橋市・市議会が表彰を受ける。（日本の自治体で初）
5. 8.	市立船橋高等学校 全国高等学校総合体育大会で体操男子団体総合決勝優勝（2年連続8 回目）、体操男子個人総合決勝優勝、陸上女子400m決勝優勝、陸上男子4×100mリ レー決勝優勝、陸上男子110メートル障害決勝優勝。
5. 9. 24	ふなばしアンデルセン公園の入園者数が1,500万人を突破。
5. 10. 1	市役所本庁舎の「ゼロカーボン」を達成。（県内初）
5. 10. 9	スポーツ健康都市宣言40周年記念事業として、船橋市運動公園にてスポーツフェスタ を開催。

市勢

年月日	事項
5. 11. 3	西海神小学校が日本管楽合奏コンテストの小学生部門で文部科学大臣賞を受賞。
5. 11. 19	法田中学校が全日本マーチングコンテストの中学校の部で金賞を受賞。
5. 11. 26	36 年間活躍した船橋市プラネタリウム館の GN-AT 型投影機「コスモくん」が現役引退。
5. 11.	葛飾行田合同管弦楽が日本学校合奏コンクールの中学校の部で文部科学大臣賞を受賞。 行田東小学校が同コンクールのソロ部門で文部科学大臣賞を受賞。
6. 1. 28	船橋市民文化ホール会館 45 周年記念事業として、「船橋第九演奏会」を開催。
6. 3. 11	株式会社 AirX と「災害時における緊急輸送等に関する協定」を締結。
6. 3.	千葉ジェッツふなばし 天皇杯・EASL 制覇。
6. 4. 1	7 の計画がスタート。 船橋市再犯防止推進計画、第 7 期船橋市障害福祉計画及び第 3 期船橋市障害児福祉計画、船橋市第 10 次高齢者保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画（いきいき安心プラン）、船橋市国民健康保険 第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第 4 期特定健康診査等実施計画、船橋市感染症の予防のための施策の実施に関する計画（船橋市感染症予防計画）、船橋市食品衛生監視指導計画、船橋市立医療センター経営強化プラン・中期経営計画 市の組織一部変更。教育委員会指導課内に「児童・生徒サポート室」を新設。消防局警防指令課を「消防局警防課」と「消防局指揮指令課」に分割。消防署 3 署から 5 署(夏見分署・芝山分署が新たに消防署へ)の体制に変更。
6. 4 ～	デンマーク・オーデンセ市との姉妹都市提携 35 周年、中国・西安市との友好都市提携 30 周年を迎え、各種記念事業を実施。 一般社団法人千葉ドローン協会と「災害時等における無人航空機による活動協力に関する協定」を締結。
6. 7. 7	船橋市プラネタリウム館が最新型投映機「パンドラⅡ」を導入しリニューアルオープン。
6. 7. 10	株式会社大木無線電気と「災害時等における無人航空機による活動協力に関する協定」を締結。
6. 7.	友好都市提携 30 周年の節目を迎え、中国・西安市教育友好使節団が 8 年ぶりに船橋市を訪問。

4 市域の推移

【自治振興課】

編入年月日	編入理由	編入面積	総面積
		km ²	km ²
昭和 12 年 4 月 1 日	市制施行	—	40.29
昭和 25 年 10 月 1 日	第 7 回国勢調査時に公表された面積	—	38.60
昭和 28 年 8 月 1 日	二宮町を編入（第 7 回国勢調査時に公表された面積）	18.35	
昭和 29 年 4 月 1 日	豊富村を編入（第 7 回国勢調査時に公表された面積）	22.98	
昭和 29 年 8 月 1 日	宮本町 1・2 丁目地先公有水面埋立	0.02	
昭和 30 年 9 月 30 日	習志野町 5 丁目の一部、習志野市に編入	△ 0.50	
昭和 30 年 10 月 1 日	第 8 回国勢調査時に公表された面積	—	78.70
昭和 30 年 10 月 15 日	宮本町 1・2 丁目地先公有水面埋立	0.11	
昭和 31 年 8 月 20 日	宮本町 1・2 丁目地先公有水面埋立	0.25	
昭和 35 年 7 月 15 日	湊町 4 丁目及び海神町 3 丁目地先公有水面埋立	0.94	
昭和 35 年 10 月 1 日	第 9 回国勢調査時に公表された面積	—	78.84
昭和 36 年 1 月 1 日	海神町南 1 丁目地先公有水面埋立	0.34	
昭和 36 年 11 月 1 日	海神町南 1 丁目及び西浦町地先公有水面埋立	0.35	
昭和 36 年 12 月 15 日	西浦町地先公有水面埋立	0.10	
昭和 38 年 4 月 6 日	宮本町 1 丁目地先公有水面埋立	0.00	
昭和 39 年 7 月 1 日	日の出町及び宮本町 2 丁目地先公有水面埋立	0.00	
昭和 40 年 3 月 26 日	浜町及び宮本町 2 丁目地先公有水面埋立	0.57	
昭和 40 年 10 月 1 日	第 10 回国勢調査時に公表された面積	—	81.66
昭和 40 年 12 月 14 日	宮本町 2 丁目及び若松町地先公有水面埋立	0.03	
昭和 41 年 12 月 14 日	宮本町 1 丁目地先公有水面埋立	0.00	
昭和 45 年 10 月 1 日	第 11 回国勢調査時に公表された面積	—	81.78
昭和 46 年 1 月 19 日	本町 1 丁目地先公有水面埋立	0.00	
昭和 46 年 6 月 21 日	本町 5 丁目及び市場 1 丁目地先公有水面埋立	0.00	
昭和 48 年 3 月 29 日	浜町 2 丁目、栄町及び日の出町地先公有水面埋立	0.18	
昭和 48 年 12 月 21 日	日の出町地先公有水面埋立	0.00	
昭和 50 年 6 月 27 日	若松 2 丁目、浜町 2 丁目、西浦 3 丁目及び日の出 2 丁目地先公有水面埋立	2.40	
昭和 50 年 10 月 1 日	第 12 回国勢調査時に公表された面積	—	84.37
昭和 51 年 10 月 19 日	潮見町、若松 2・3 丁目、高瀬町及び浜町 2 丁目地先公有水面埋立	0.19	
昭和 52 年 7 月 15 日	若松 2 丁目及び高瀬町地先公有水面埋立	0.38	
昭和 55 年 9 月 29 日	潮見町地先公有水面埋立	0.05	
昭和 55 年 10 月 1 日	第 13 回国勢調査時に公表された面積	—	84.94
昭和 56 年 5 月 1 日	習志野市谷津 7 丁目の一部、船橋市に編入	0.00	
昭和 56 年 12 月 24 日	日の出 1 丁目及び湊町 3 丁目地先公有水面埋立	0.01	
昭和 57 年 9 月 27 日	潮見町、浜町 3 丁目及び若松 3 丁目地先公有水面埋立	0.03	
昭和 59 年 3 月 28 日	潮見町地先公有水面埋立	0.01	
昭和 59 年 9 月 27 日	浜町 2 丁目、潮見町及び高瀬町地先公有水面埋立	0.06	
昭和 60 年 10 月 1 日	第 14 回国勢調査時に公表された面積	—	85.10
昭和 62 年 9 月 22 日	潮見町及び高瀬町地先公有水面埋立	0.01	
平成元年 7 月 12 日	潮見町地先公有水面埋立	0.00	
平成 2 年 4 月 1 日	「昭和 63 年全国都道府県市区町村別面積調」による	—	85.63
平成 5 年 3 月 25 日	日の出 2 丁目地先公有水面埋立	0.00	
平成 10 年 3 月 26 日	浜町 2 丁目地先公有水面埋立	0.00	
平成 10 年 7 月 3 日	日の出 2 丁目（平成 5 年 3 月編入）、浜町 2 丁目（平成 10 年 3 月編入）の合計面積を市域面積に加算	0.01	85.64
平成 26 年 10 月 1 日	「平成 26 年全国都道府県市区町村別面積調」による（計測方法の変更に伴い、面積値が変動）	△ 0.02	85.62

市勢

- (注) 1. 本表は昭和 12 年 4 月 1 日市制施行以降の市域の拡張、水面埋立等によって生じた市域の面積を編入年月日順に表したものである。また、表中ゴシックの総面積は国勢調査時に公表された面積である。
2. 市制施行時の総面積は、国土地理院（旧地理調査所）が公表した「昭和 10 年全国市町村別面積調」による合併町村の面積を合計したものである。

5 人口の推移 【デジタル行政推進課】

1 人口の推移（各年 10 月 1 日現在）

年		人口			世帯数	一世帯 平均人数	人口密度 (人/㎢)
		総計	男	女			
昭和 15 年	(国勢調査)	50,907	25,224	25,683	9,920	5.1	1,264
22 年	(臨時国勢調査)	78,996	38,715	40,281	17,042	4.6	1,961
25 年	(国勢調査)	83,348	40,819	42,529	17,555	4.8	2,159
28 年	(二宮町合併)	106,473	52,765	53,708	22,713	4.7	1,870
29 年	(豊富村合併)	111,136	55,162	55,974	24,000	4.6	1,390
30 年	(国勢調査)	114,921	57,952	56,969	23,409	4.9	1,460
35 年	(〃)	135,038	68,183	66,855	31,119	4.3	1,713
40 年	(〃)	223,989	115,919	108,070	58,502	3.8	2,743
45 年	(〃)	325,426	169,441	155,985	91,622	3.6	3,979
50 年	(〃)	423,101	219,501	203,600	124,327	3.4	5,015
55 年	(〃)	479,439	245,945	233,494	155,372	3.1	5,644
60 年	(〃)	506,966	259,097	247,869	166,803	3.0	5,957
平成 2 年	(〃)	533,270	273,780	259,490	187,841	2.8	6,228
7 年	(〃)	540,817	277,779	263,038	203,510	2.7	6,316
12 年	(〃)	550,074	280,623	269,451	216,155	2.5	6,423
17 年	(〃)	569,835	288,667	281,168	233,289	2.4	6,654
22 年	(〃)	609,040	306,399	302,641	261,415	2.3	7,112
27 年	(〃)	622,890	311,358	311,532	272,432	2.3	7,275
令和 2 年	(〃)	642,907	318,860	324,047	289,916	2.2	7,509

2 人口の動態

年	人口(10 月 1 日現在)	転入	転出	出生	死亡
令和元年	639,107	35,482	31,381	4,617	5,378
2 年	642,907	34,180	31,201	4,700	5,651
3 年	644,617	33,462	31,189	4,382	5,903
4 年	645,757	35,280	31,617	4,164	6,508
5 年	647,105	34,967	31,082	4,125	6,716

注) 人口以外の数値については、各年 1 月から 12 月までの累計

6 国勢調査結果

【デジタル行政推進課】

1 人口および世帯数

年	人口			世帯数	人口密度(人/km ²)
	総数	男	女		
平成 17 年	569,835	288,667	281,168	233,289	6,654
22 年	609,040	306,399	302,641	261,415	7,112
27 年	622,890	311,358	311,532	272,432	7,275
令和 2 年	642,907	318,860	324,047	289,916	7,509

2 労働力の状況

年	総数	労働力人口			非労働力人口	不詳
		総数	就業者	完全失業者		
平成 22 年	523,067	301,767	283,555	18,212	180,508	40,792
27 年	534,177	297,681	286,205	11,476	188,003	48,493
令和 2 年	549,287	303,830	292,935	10,895	171,518	73,939

注) 年少人口（15 歳未満）は除く

非労働力人口とは、「就業者」と「完全失業者」以外の者で、「通学」、「家事」、「その他（高齢者など）」が含まれる。

3 産業（大分類）別就業者数

	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
総数	283,555	286,205	292,935
第 1 次産業	2,549(1.0%)	2,388(0.9%)	2,258(0.8%)
第 2 次産業	47,142(17.9%)	48,753(18.2%)	46,573(16.5%)
第 3 次産業	213,119(81.1%)	216,249(80.9%)	233,859(82.7%)
分類不能	20,745	18,815	10,245

注) 構成比には「分類不能」の就業者を含まない。